

平成19年度 多摩区協働推進事業 実施結果

1 区民との協働による課題解決型事業	予算額 26,491,000円	決算額 25,158,937円	不用額 1,332,063円
--------------------	-----------------	-----------------	----------------

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>(1) 親と子の集いの場づくり事業</p> <p>[こども総合支援担当] (こども支援室)</p>	<p>①「ママと遊ぼう パパもね」事業 区内3地区4会場を地域の特性を活かした子育て支援の拠点として、公立保育園・主任児童委員との協働による乳幼児期の親子のふれあい・交流・相談の場とする。</p> <p>◎②子育て安全マット・玩具貸出し事業 区内の子育てグループ等の活動支援のため、子育て安全マットや玩具を貸出し、こどもの遊びや保育活動での利用に供する。</p> <p>③親と子の集いの場づくりDIO事業 区内の児童福祉施設等(こども文化センター)を乳幼児の親子が集える場として活用するため、利用者・市民・ボランティアが協働して環境整備を図る。</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児とその親 ■実施主体：区役所、子ども文化センターDIO事業チーム ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)</p>	<p>①「ママと遊ぼう パパもね」事業 ・19年5月～20年2月 25回実施 1,554名 ・たまたま子育てまつり参加 約500組 ・コンサート実施 160名</p> <p>②子育て安全マット・玩具貸出し事業 ・安全マット84枚、玩具3セット購入、貸し出し実施</p> <p>③親と子の集いの場づくりDIO事業 ・期間：平成19年6月～平成19年12月 ・内容：2か所のこども文化センターにおいて、室内の壁のペンキ塗り、カーペットの張替えを実施</p>	<p>地域の子育て支援者との協働体制を構築したほか、子育て拠点に係る環境を整備したことにより、親子のふれあい・交流・相談支援の場が充実した。</p>	<p>予算額：991,000円 決算額：1,007,136円 不用額：▲16,136円</p>
<p>(2) 家庭で保育する親等の支援事業</p> <p>[こども総合支援担当] (こども支援室)</p>	<p>①保育の寺子屋事業 公立幼稚園を利用し、親には育児・しつけ・家庭教育等の学習の機会、こどもには遊びと集団保育を経験する機会として親への支援をする。</p> <p>◎②子育て支援パスポート事業 区内商店街との協働により、子育て家庭の経済的負担の軽減と地元商店街の振興を図るとともに、地域で子育てを支援するコミュニケーションや見守り体制を強化する。買い物や飲食の際にパスポートを提示することにより、割引などの特典を受けることができる。</p> <p>③こども支援啓発研修・講演会 地域住民や子育て支援機関・団体及び子育て中の親を対象に、こどもの成長発達に係る課題について専門分野の講師を招いた講演会とシンポジウムを開催し、理解を深め、子どもを見守るサポート体制をつくる。</p> <p>■事業対象：区内の家庭で保育している親子 ■実施主体：区役所、NPO法人ままとんきっず、多摩区商店街連合会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)</p>	<p>①保育の寺子屋事業 ・実施回数：平成19年5月～平成20年3月の土曜日 合計20回 ・内容：親子遊び、親子体操、絵本読み聞かせ、わらべ歌、食育講座、親の講座(親になるとき、幼児応急手当法) ・参加した親子：71組(うち父親参加数 16組) 0歳児 17組、1歳児 23組、2～3歳児 31組</p> <p>②子育て支援パスポート事業 ・開始日：平成19年9月29日(土) ・発行場所：多摩区内の保育所や子育て支援センター、各商店会協賛店、区役所子ども相談窓口、たまたま子育てまつり ・協賛店・発行数：協賛店 12商店会 111店舗 パスポート発行世帯数 2,100世帯</p> <p>③こども支援啓発研修・講演会 ・8月6日(月)講演会「地域で見守る子どもたち①何が子育ての課題なのか」 29名 ・10月2日(火)演習「地域で見守る子どもたち②子どもとのコミュニケーションスキルトレーニング」 20名 ・12月26日(水)シンポジウム「地域で見守る子どもたち③多摩区で考える子どもたちの未来～大人の力を高め、子ども支援の輪を広げよう」 30名</p>	<p>家庭で保育する親子への支援として、また子育ての相談や虐待防止として学習の機会を提供し、その結果として子育て中の親同士の交流の広がり、深まりの成果を生み、地域で見守るサポート体制の構築に繋がった。</p>	<p>予算額：3,229,000円 決算額：3,148,140円 不用額：80,860円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>(3) 子育て支援事業(乳幼児)</p> <p>[保健福祉サービス課]</p>	<p>①幼児の発達支援事業 幼児相談件数が年々増加しているほか、障害や発達に問題のある子は虐待のハイリスクがあることから、相談の長期待機者及び相談の場に繋がりにくい母子のフォローを実施する。</p> <p>②生きがいと楽しさを持てる子育て交流支援事業 孤立した育児環境の中で子育てにストレスを感じている親子に、地域での交流の場を設け、楽しい子育てや健康づくりに繋げる。</p> <p>③次世代育成支援スキンシップコーナー 育児下手・育児不安の親が肌のふれあいにより、「安定した親子関係」を築くための助言・指導を行う。 ■事業対象：区内における子育て中の親 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度(継続事業)</p>	<p>①幼児の発達支援事業 ・回数：1歳半～2歳児、2歳～3歳児を対象に毎月1回、追加6回実施 計30回 ・会場：保健福祉センター ・参加者数：803人</p> <p>②生きがいと楽しさを持てる子育て交流事業 ア 母子サロンの開催 ・日程：月11回の割合で実施 ・回数：132回実施 ・会場：保健福祉センター ・参加者数：健診時自由参加</p> <p>イ 地域ママズサロンの開催 ・日程：毎月1回(年間63回実施) ・参加者数：3,413人</p> <p>③次世代育成支援スキンシップコーナー ・日程：3ヵ月健診時 ・回数：月3回 年間36回実施 ・会場：保健福祉センター ・参加者数：631人</p> <p>④幼児の発達支援講演会の開催 ・回数：3回 ・会場：保健福祉センター ・参加者数：85人</p>	<p>①幼児の発達支援事業 重度障害の子への支援はあるが、軽度障害の子は幼稚園入園までの間、受け皿がない。発達に問題のある子は虐待のハイリスクでもあり、虐待予防の観点から、また子育てに不安を持つ親に対して子育ての正しい知識を持ってもらうという観点からも意味がある。</p> <p>②生きがいと楽しさを持てる子育て交流事業 (母子サロンの開催) 健診は短時間に多くの児を診る業務であり、親が安心して健診を行うにはセンター内の保育環境整備も大切でそれらを満たした。 (地域ママズサロンの開催) 孤立した育児の防止や育児不安の軽減を図ることを目的に地域ごとに気軽に集まり、交流をとおして情報交換の場として行った。</p> <p>③次世代育成支援スキンシップコーナー こどもとの接し方がスムーズにいかない親がこの方法を学ぶことにより、安定した親子関係をより深める姿が見られた。保育士・心理職が入り子育て不安の親に助言・指導を行った。</p> <p>④幼児の発達支援講演会の開催 テーマを3回に分け、講義を実技形式・身近な支援者として祖父母をターゲットにした講義・子育て支援者(保健師・保育士)のためのメンタルヘルスについて実施、どのテーマも関心が高く参加者の好評を得た。</p>	<p>予算額：3,159,000円 決算額：3,067,597円 不用額：91,403円</p>
<p>(4) こども総合支援連携事業</p> <p>[こども総合支援担当] (こども支援室)</p>	<p>①幼・保・小連携事業 区内の公私立幼稚園、保育園、小学校の連携を図り、一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、情報交換や保育体験等を実施し、支援体制づくりを進める。</p> <p>②こども総合支援連携会議 区内のこども支援に係る市民活動団体・グループとこども関連施策実施機関とのネットワークを形成し、相互に連携調整機能の強化を図る。 ■事業対象：①区内の公私立幼稚園・保育園・小学校 ②区内のこどもに係る機関・団体・グループ ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)</p>	<p>①幼・保・小連携事業 ・小学校に「生活リズムを作ろう」配布 ・体験保育：13名の教諭が参加し、保育の理解を深めた。</p> <p>②こども総合支援連携会議 ・開催回数：4回 ・内容：全体会議(3回) 各団体・機関の活動についての情報交換、2グループに分かれての意見交換 授業参観(1回) 中学校における道徳の研究授業 ・参加団体：26団体 幼稚園・保育園・学校 6、地域団体 8、子育て団体 5、関係機関 7</p>	<p>地域の総合的な子ども支援の拠点として支援体制づくりや、子ども関連の現状、事業等についての情報交換、検討、協議を行うことができた。</p>	<p>予算額：116,000円 決算額：76,887円 不用額：39,113円</p>
<p>◎(5) こども総合支援に係る広報事業</p> <p>[保健福祉サービス課] [こども総合支援担当] (こども支援室)</p>	<p>区内において子育てをしている親に対し、適切な育児情報を提供するほか、それによる育児支援を行う。 ■事業対象：区内における子育て中の親 ■実施主体：区役所、NPO法人ままとんきっず ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)</p>	<p>①1～2歳児の子育てをしている母親たちにより「ママズたいむす」を隔月発行(400部/1回×年6回) ②「多摩区子育てBOOK」改訂版を発行(4,000部) ③ウェブのメンテナンス及び子育て情報のリアルタイム発信(毎月) ④多摩区こどもカレンダーの情報更新(隔月)</p>	<p>育児支援に繋がる情報を適切に発信できた。</p>	<p>予算額：2,202,000円 決算額：2,132,756円 不用額：69,244円</p>
<p>◎(6) まちかどアメニティ・花事業</p> <p>[建設センター工事課]</p>	<p>道水路の余剰地を活用し、地域に根ざした植栽帯の整備及び管理を市民との協働により推進する。なお、整備後の植栽管理については、自治会等の団体主導で行っていく。 ■事業対象：菅町会管内の区民、道路利用者 ■実施主体：区役所、菅町会(植栽管理のみ実施) ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>・整備箇所：多摩区菅1丁目13番地先 ・整備面積：257.0㎡(道路舗装補修面積含む) ・整備期間：平成19年10月26日～平成20年1月31日</p>	<p>地域の美観向上、及び道水路余剰地活用に寄与している。また、町会の植栽維持管理活動を通じて、区民協働に係る意識の向上にも寄与していると考えている。</p>	<p>予算額：3,717,000円 決算額：3,150,000円 不用額：567,000円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
◎(7) 体育指導委員スキルアップ事業 [地域振興課]	介護予防と子どもの体力低下に対応するため、体育指導委員の健康づくり活動を支援する。 ■事業対象：体育指導委員63名、一般区民 ■実施主体：幼児活動研究会(株) ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	体育指導委員を対象とした研修会の実施 ・回数：8回 ・参加者数：128人	体育指導委員の主体的な健康づくり活動を支援し、地域での健康づくりを支えていく体制整備に役立っている。	予算額：350,000円 決算額：350,000円 不用額：0円
○(8) 磨けば光る多摩事業 [総務企画課](企画課)	区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、区民が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。 ■事業対象：活動提案者(区民：区内在住・在学・在勤、区内に事業所がある企業・団体も含む。) 提案された活動の対象とされた方(主に区民) ■実施主体：区役所、活動提案者 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)	①長沢にぎわいづくり事業 地域のコミュニティ広場である「長沢ひろば」を核とし、学生、商店会、自治会及び地域住民の交流を進めることにより「長沢ならではの」にぎわいづくりを行った。(委託先：長沢まちづくり協議会) ②妊婦体験・赤ちゃんふれあい体験事業 妊婦や赤ちゃんに触れ合うことで小・中学生に命の尊さ、大切さを実感してもらった。(委託先：NPO法人ままとんきっず) ③～住みよい多摩区を考える～区民と議員のフロアーミーティング事業 区民に市政へ主体的に関わってもらうことを目的に、多摩区選出議員と区民が地域社会の問題を率直に語り合う場を作った。(委託先：多摩区選出議員と市政を語る会実行委員会)	区民と行政との協働の一態様である区民提案型事業については様々な実施手法があるが、公開プレゼンテーションによる審査、活動提案者への実施委託、事業終了後における報告会の実施という手法により、一定の成果を得ることができた。今後は委託対象経費や経費の支払い方法について整理するなど、応募しやすい制度づくりに向けて検討を進める。	予算額：1,418,000円 決算額：1,359,678円 不用額：58,322円
(9) 多摩区・3大学連携事業 [総務企画課](企画課)	区内に立地する3大学の知的資源及び人材を活用し、大学と地域社会が連携して実践的な活動を展開することで、地域社会の様々な課題の解決を図るとともに、文教都市としてふさわしい地域社会づくりを目指す。地域の課題解決に向けたモデル的事業について、大学及び区役所からの提案や地域からの要望をもとに、多摩区・3大学連携協議会で事業化を図り、大学への委託により実施する。 ■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学、区民 ■実施主体：専修大学、明治大学、日本女子大学 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)	①「都市型観光としての多摩タウンセールスの方向」に関する調査事業(委託先：専修大学) アンケート、インタビュー、学生への意識調査、学生によるモデル観光コースの提案 ②「多摩川親子自然教室」事業(委託先：明治大学) 平成19年8月26日(日) 親子自然教室の実施・運営等 ③学校ボランティアによる学校サポート事業(委託先：日本女子大学) 学校教育ボランティア派遣、学生の相談対応、 平成20年1月26日(土) 報告会実施	地域住民と大学(特に学生)がともに地域課題を考えることにより、地域活動等への関心が高まり、各事業に参加した区民からも高く評価された。	予算額：2,564,000円 決算額：2,123,000円 不用額：441,000円
(10) 市民活動支援コーナー運営事業 [地域振興課]	区内で非営利の社会貢献活動をしている団体及び個人の活動を側面から支援する。多摩区総合庁舎2階に印刷機、紙折り機、丁合機、パーカッター、強力パンチ等を備えた「多摩区民活動支援コーナー」を運営し、登録団体及び個人に対し、無料で利用開放を継続的に実施する。 ■事業対象：区内で非営利の社会貢献活動を行う市民団体及び個人 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成13年度(継続事業)	多摩区民活動支援コーナーの利用実績 ・印刷室 822件/年(前年度671件/年)・・・前年比約1.2倍 ・小会議室 59件/年(前年度48件/年)・・・前年比約1.2倍	地域の課題解決の役割を担うとされている非営利の社会貢献活動をしている団体及び個人の活動を側面から支援することで、市民活動の充実に貢献することができた。	予算額：1,268,000円 決算額：1,267,873円 不用額：127円
(11) 安全・安心まちづくり推進事業 [地域振興課]	区内の安全・安心なまちづくりを目指し、町会などが組織するパトロール団体等を支援する。 ■事業対象：町会、自治会、老人会、防犯協会、安全協会等 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度(継続事業)	①多摩区安全・安心まちづくり推進協議会ホームページの更新、パトロール団体の調査 ②パトロール活動で使用するベストの購入と関係団体への貸与、のぼり旗の購入と各団体への貸与 ③「多摩区子ども安全の日」の制定 ④年末年始緊急パトロールの実施	近年、区の安全・安心まちづくりは重要度が増してきており、今後はさらに区民の関心が高まっていく事業である。区としても、各種関係機関・団体と連携をとり、パトロール等の取組みの推進と効果的な支援とを検討していく必要がある。	予算額：1,736,000円 決算額：1,736,000円 不用額：0円
(12) 市民防災活動支援事業 [地域振興課]	大規模災害時における避難所運営の活性化を図ることを目的として、防災フェアを実施するとともに、救護体制を強化するために救急員の養成講習を開催する。 ■事業対象：市民 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)	①避難所運営会議の開催 13回 ②多摩区防災フェアの開催 12月4日(火)、5日(水) ③救急員養成講座の開催 11月13日(火)、20日(火)、22日(木)	防災に対して市民の意識が高いことが改めて感じられたが、これを一部の人だけではなく、一人でも多くの市民に防災に対する意識と知識を持ってもらえるよう自主防災組織を中心に関係団体とも連携をとりながら、今回のような防災フェアを開催できたことは非常に意義のあるものと認識している。	予算額：930,000円 決算額：930,000円 不用額：0円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(13) まちづくり推進事業 [地域振興課]	住みよい魅力ある多摩区のまちづくりを推進するために、市民の主体的な参加による課題提起やその解決のための実践活動を行う。市民が安全で賑わいのあるまち、環境、福祉そして文化教育という4つのテーマごとの部会に分かれて活動を進めており、事務局として地域振興課が関わることで市民協働の実践の場としても機能している。 ■事業対象：多摩区まちづくり推進協議会、一般区民 ■実施主体：多摩区まちづくり推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成12年度(継続事業)	①まちづくりフェスティバル 平成20年2月1日(金)2日(土)開催 ②たまサロン ③生ゴミ堆肥化講習会 ④エコッキング講習会 ⑤文化財見学会 ⑥武州稲毛七福神巡り ⑦冊子発行(私たちのまちづくり、多摩区医療機関案内、わがまちの介護施設、多摩区内の石造物案内、多摩区内の祭礼) ⑧市の政策に関する勉強会 ⑨空地の緑化推進 ⑩中学校文化祭での文化財資料展示	市民協働の流れの中で、まちづくり推進事業として市民自らが主体的に活動する機会の提供と成果の着実な積み重ねは十分にあった。	予算額：4,811,000円 決算額：4,809,870円 不用額：1,130円

2 区の魅力づくり・イメージアップ型事業

予算額 24,029,500円

決算額 21,609,856円

不用額 2,419,644円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
◎(14) 観光振興・魅力ある多摩区 タウンセールス推進事業 [地域振興課]	区の観光を振興するため、区内の観光・商業・文化等に関する団体及び個人並びに市民の連携・連帯を促進するとともに、観光事業の発展及び観光客の誘致を図るためのキャンペーンを円滑かつ効率的に推進し、賑わいのあるまちづくりに寄与する。 ■事業対象：区民、近郊都市住民 ■実施主体：多摩区観光推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	①多摩区観光情報ホームページ開設 ②区内、近隣都市における多摩区PRキャンペーン活動(多摩区民祭、東京都西新宿及び狛江市) ③地域メディアによるまち歩き連載(多摩人26号、27号) ④観光ポスターの制作 ⑤地域イベントの支援(長尾の里あじさいまつり、菅の獅子舞等)	平成19年度からの事業であり、新たな組織体制であるが一定の成果を上げることができた。賑わいのあるまちづくりを目指し、観光振興事業を推進することによる地域経済の活性化及び区の魅力づくりは、今後さらに重要性が増すものとする。	予算額：7,000,000円 決算額：7,000,000円 不用額：0円
(15) 「音楽のまち・かわさき」 多摩区事業 [地域振興課]	市の施策である「音楽のまち・かわさき」を推進するため、音楽芸術に身近に触れる機会を提供する。また、音楽事業の開催を通じて、区の魅力や区内の活動をアピールし、地域における文化環境のさらなる向上と意識の醸成を目指す。 ①たまアトリウムコンサート ②子育て応援コンサート ○③せせらぎ館コンサート ④リバーサイド・ミュージックフェスタ ■事業対象：区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成16年度(継続事業)	①たまアトリウムコンサート ・日程：各奇数月第3水曜日 ・会場：多摩区総合庁舎1階 ②子育て応援コンサート ・日程：平成19年9月23日(日) ・会場：多摩市民館ホール ③せせらぎ館コンサート ・日程：平成19年8月12日(日) ・会場：二ヶ領せせらぎ館 ④リバーサイド・ミュージックフェスタ ・日程：平成19年11月3日(祝) ・会場：二ヶ領せせらぎ館	より多くの方々に参加してもらえるよう広報などの点で工夫する余地があるものの、各イベントにおける参加者の反応やアンケートの内容を鑑みると成功していると考えられる。	予算額：3,619,000円 決算額：3,619,000円 不用額：0円
○(16) 多摩区イメージアップ事業 [地域振興課]	区のイメージアップを図り、区民の郷土に対する愛着や連帯意識を育み、住民参加によるまちづくりを推進するため、各種事業を行う。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区イメージアップ委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成8年度(継続事業)	①水と緑の写真コンテスト ・募集期間：平成19年8月1日(水)～9月14日(金) ・表彰式：平成19年11月14日(水) ・展示期間：平成19年12月10日(月)～28日(金) ②牛乳パック工作教室 ・日時：平成20年2月8日(金)開催 ・場所：区役所会議室 ③区の花木記念植樹 ・日時：平成20年1月23日(水) ・場所：南生田中学校、三田小学校、稲田中学校、台和公園 ④多摩コミックホームページ開設(平成20年3月31日(月)開設) ⑤登戸駅ペDESTリアンデッキバナー管理	平成8年度から時流に即した各種事業を検討・実施し、多くの成果を上げてきた。今後はより多くの区民が参加できる事業の実施や、費用対効果を考慮した事業展開を進めていく。	予算額：2,053,000円 決算額：2,053,000円 不用額：0円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(17) たまく森のまつり [地域振興課]	<p>未来を担う子どもたちが自然豊かな生田緑地において、野外音楽や各種のゲームを通じて交流の輪を広げるとともに、自然の恵みを認識し、郷土への理解と愛着を深める場を提供する。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：たまく森のまつり実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度(継続事業)</p>	<p>・日程：平成20年3月8日(土) ・会場：生田緑地枳形山広場 ・内容：小中学生による音楽演奏、ミニ動物園、移動水族館、玩具製作コーナーほか</p>	<p>来場者も大変多く、区民に親しみのある事業であり、事業目的もほぼ達成できていると考える。</p>	<p>予算額：2,950,000円 決算額：2,950,000円 不用額：0円</p>
(18) 多摩まちかど祭 [地域振興課]	<p>区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場において開催し、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：多摩まちかど祭実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成3年度(継続事業)</p>	<p>第30回多摩区民祭 ・日時：平成19年10月20日(土) ・場所：生田緑地 ・参加者数：約71,000人</p>	<p>身近な舞台公演を通じて区民同士の交流が図られ、地域コミュニティの形成に役立っている。</p>	<p>予算額：1,500,000円 決算額：1,500,000円 不用額：0円</p>
(19) ミニ水族館の維持管理 [地域振興課]	<p>区民が区の自然への理解を深め、地域への愛着心を育むとともに、庁舎を温もりと潤いのある環境とすることを目的として、多摩区総合庁舎1階アトリウムに多摩川で生息する生き物を飼育する水槽を2基設置し、来庁した区民が身近に鑑賞できる場とする。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：中里フィッシュセンター ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度(継続事業)</p>	<p>庁舎1階アトリウムにおいて多摩川に生息する生き物を飼育する水槽を2基設置し、年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供した。</p>	<p>来庁者が誰でも気軽に立ち寄れるアトリウムに常時設置していることから、年間を通じて広く区民が親しめる事業として、事業目的を効果的に果たしているといえる。</p>	<p>予算額：945,000円 決算額：945,000円 不用額：0円</p>
(20) 住民交流の推進 [地域振興課]	<p>各種事業を通して交流都市(千葉県南房総市、静岡県岡部町)との交流を行う中で住民相互の友好を深めるとともに、生き生きとした地域社会の創造と文化の発展、市民生活の向上の一助とする。</p> <p>■事業対象：千葉県南房総市千倉町、静岡県岡部町、区民 ■実施主体：多摩区交流事業実施委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成4年度(継続事業)</p>	<p>①ちくら魚料理教室 ・日時：平成19年9月13日(木) ・場所：多摩市民館 5階料理室 ②ちくら花料理教室 ・日時：平成20年2月6日(水) ・場所：多摩市民館 5階料理室 ③区民祭での物産交流 第30回区民祭(平成19年10月20日(土)開催)にて実施 ④団体間交流事業 千葉県南房総市、静岡県岡部町、アメリカ合衆国ボルチモア市と多摩区内の団体が交流を行った。</p>	<p>交流都市間でのよりよい交流を図るため、状況の変化に応じた交流内容を検討していく必要がある。</p>	<p>予算額：956,000円 決算額：955,610円 不用額：390円</p>
(21) たまたま子育てまつり [生涯学習支援課]	<p>区内の子育て支援団体や市民グループと関係行政機関が協働して、子育てに関する情報交換と様々な交流事業を行うことにより、安心して子育てができる地域づくりと地域における子育てネットワークの充実を目指す。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：区役所、たまたま子育てまつり実行委員会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)</p>	<p>第5回たまたま子育てまつりの開催 ・日程：平成19年9月23日(日) ・会場：多摩区総合庁舎 ・テーマ：たまくで子育て☆笑顔で応援 ・内容：情報ひろば、小児科医の講演会、お父さんと子どものたまりばー、親子遊び、子育て相談、子育てサークル活動紹介、かえっこバザー、スタンプラリーなど ・参加者数：4,500人</p>	<p>区内の子育て支援団体や市民グループと関係行政機関との協働により「たまたま子育てまつり」の企画・運営を行うことで、子育てを地域全体で支えていくという環境づくりに大きく寄与している。子育て当事者や若い世代の参画なども視野に入れ、事業を展開していく必要がある。</p>	<p>予算額：677,000円 決算額：597,000円 不用額：80,000円</p>
(22) 窓口サービス改善推進事業 [区民課] [保険年金課]	<p>平成16年にISO9001の認証を取得後、市民の求める質の高いサービスを継続的に維持する必要があることから、窓口の環境整備を行う。</p> <p>■事業対象：来庁市民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度(継続事業)</p>	<p>窓口における発券機を稼働させるための消耗品費や修繕費として使用。また、カウンターにプライバシー保護のための衝立を設置した。なお、不用額については、消耗品の廉価購入や修繕不要部分による差額のほか、区役所組織の大幅な改編等のため企画に再検討の余地が生じたことによるものである。</p>	<p>本事業を開始して以来、発券機稼働による混雑緩和など窓口業務における成果は着実に現れており、3年間のISO認証取得の維持にあるように、対外的な評価においても成果が出たと考える。</p>	<p>予算額：1,791,500円 決算額：755,639円 不用額：1,035,861円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
◎ (23) いきいき体操普及啓発事業 [地域保健福祉課]	歳を重ねても自分らしくいきいきと生活していくことを目指すうえで、今後、介護予防の重要性が増すとともに、日々の健康づくりや生活習慣病予防も欠かせなくなる。そこで、介護予防と健康づくりを目的とした体操を広く普及させることを目的とし、体操内容を解説するパンフレットを作成する。また、ボランティアと協働で作成することで、住民主体の健康づくり・介護予防の推進に役立てる。 ■事業対象：多摩区いきいき体操運営委員会（多摩区いきいき体操ボランティア） 多摩区いきいき体操参加者 健康づくり・介護予防に関心のある市民 ■実施主体：多摩区いきいき体操運営委員会、(株)武揚堂 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	①平成19年5月～8月 多摩区いきいき体操運営委員会のなかからパンフレット作成委員会を立ち上げ、8回のパンフレット作成委員会を実施 ②平成19年9月 「多摩区いきいき体操(床編)」3,000部、「多摩区いきいき体操(椅子編)」1,000部完成 ③平成19年9月23日(祝) 多摩区民健康フェアでパンフレット配布、実技実施 ④ボランティアが16会場で上記パンフレットを随時配布	区民の健康づくり・介護予防を推進するためには、身近な場所で運動を実践できる環境を整えることにあわせて、その活動を広く周知することが大切である。今回のパンフレットを作成したことで、健康づくり・介護予防の重要性と体操の内容を周知することができ、参加者が体操を効果的に実施できるようになった、自宅で実践する際の手助けになったといった効果を得られた。また、協働でパンフレットを作成することでボランティアの体操普及への意欲を高めることもでき、新たな参加者の獲得につながったため、今回の事業は有効であったといえる。	予算額： 630,000円 決算額： 630,000円 不用額： 0円
(24) 精神保健普及推進事業 [地域保健福祉課]	精神保健の普及啓発のため、「現代のこころの危機」を主テーマに虐待予防、虐待対策、DV、自殺対策の角度から講演会を開催する。また、こころを健やかに保つために、誰もが使える小冊子「こ・こ・た・ま Another Story」を作成する。 ■事業対象：区民及び区内在勤・在学者等 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	①講演会 ア 平成20年1月17日(木)参加者51名 子どものこころ～健やかに育むために～ イ 平成20年1月25日(金)参加者48名 病院での虐待予防の取組み～MCAPの活動を通して～ ウ 平成20年2月20日(水)参加者86名 あなたの心 傷ついていませんか ～STOP! 配偶者や恋人からの暴言・暴力～ エ 平成20年3月7日(金)参加者203名 死ななくてよかった～自殺予防と誰もが生きやすい街づくり～ ②普及啓発冊子 「こ・こ・た・ま Another Story」3,000部作成	4回の講演会を開催し、最終回は200名を超えることとなった。どのテーマも参加者の予想以上に身近にあることが多かったとの意見が多かった。 また、ストレスとうまく付き合いながら生活していくためのアドバイスを「こ・こ・た・ま Another Story」として、誰もが読みやすい形にまとめ、発行した。 健康づくり推進会議の1つの活動として精神保健の普及啓発に取り組んできたが、平成20年度からは「地域精神保健福祉連絡会議」により、今後も継続した精神保健の普及啓発を行う予定である。	予算額： 910,000円 決算額： 604,607円 不用額： 305,393円
(25) ホームページ更新事業 [総務企画課] (企画課)	区役所組織の変更や各所管課の事務事業内容の変更、新規事業等の追加等最新情報を網羅し、また、区の魅力発信によるイメージアップや利用者の使いやすさの向上を図るため、ホームページを更新する。あわせて、各所管課において職員の技術指導を行う。 ■事業対象：ホームページを閲覧する市民 ホームページ更新作業に関わる職員 ■実施主体：区役所、ホームページ制作者 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度(継続事業)	各所管課からの依頼に基づき、区役所ホームページを迅速に更新した。また、更新作業を行う職員に対し、技術指導を行った。(区役所組織の変更や各所管課の事務事業内容の更新、新規事業等の追加等に関しては、ホームページ作成ソフトを用いて可能な限り職員の手作業により対応したため、委託経費は発生しなかった。)	区民がホームページから情報を入手する機会が多いのは、電話での問合せや各事業で実施するアンケート等からも伺える。今後も益々の内容充実が求められているといえる。	予算額： 998,000円 決算額： 0円 不用額： 998,000円

3 その他、区政の推進に関わる事業

予算額 4,479,500円

決算額 1,572,810円

不用額 2,906,690円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
(26) 共通事務経費 [総務企画課] (総務課)	協働推進事業の共通事務経費		協働推進事業に係る各個別事業に共通で必要となる物品の購入(印刷機インク等)に役立った。	予算額： 809,000円 決算額： 272,085円 不用額： 536,915円
(27) 緊急対策事業費 [総務企画課] (企画課)	緊急の事態に対処するための予備費	○生田緑地エントランススポット管理運営事業 ○多摩区みどころ散策マップ及び多摩区基本地図作成事業		予算額： 3,670,500円 決算額： 1,300,725円 不用額： 2,369,775円

※ 緊急対応事業一覧

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>※ 生田緑地エントランススポット管理運営事業</p> <p>[総務企画課] (企画課)</p>	<p>区では、生田緑地等を主体とした観光推進に取り組んでいるところであり、その玄関口となる生田緑地エントランススポット(平成17年度設置)の美観については適切に維持する必要があるが、当初の制作・設置から1年以上が経過し、様々な問題点が見受けられるようになったことから、同所の維持管理を行う。</p> <p>■事業対象：区内の大学(協力者) 生田緑地の利用者(案内) 生田緑地エントランススポットの利用者(休息)</p> <p>■実施主体：区役所</p> <p>■事業形態：直営、緊急対応事業</p> <p>■開始時期：平成18年度(継続事業)</p>	<p>①高ベンチ(パーテーションタイプ) 錆止塗装 高ベンチとパネルの接合金具部分について、錆止塗装を行った。</p> <p>②縁側ベンチ肘掛部再塗装 ベンチの肘掛部がタバコで汚れていたため、再塗装を行った。</p> <p>③高ベンチ(パーテーションタイプ) 後方植栽 自転車の駐輪を防止するため、植栽を行った。</p>	<p>区における生田緑地エントランススポットの位置付けとその状況を勘案し、緊急対応事業により執行したが、当初の予定よりも多くの維持補修作業を実施することができ、高い成果を得られた。今後も大学と行政との協働により同所を管理運営していくが、大学へのフィールドワークの機会提供と、行政による事業の執行管理とのバランスを図りながら、事業を執行する。</p>	<p>決算額：106,182円</p>
<p>※ 多摩区みどころ散策マップ及び多摩区基本地図作成事業</p> <p>[地域振興課]</p>	<p>区内の見所や散策ルート等を紹介したマップ及び地形・道路・地番等のみの基本地図を作成し希望者に配布することを通して、市民や活動団体等が地域のまち歩きやワークショップ基本資料等として活用し、区の魅力に触れたり、区への理解を深めたりするための一助とする。</p> <p>■事業対象：区内及び区外の方</p> <p>■実施主体：区役所</p> <p>■事業形態：直営、緊急対応事業</p> <p>■開始時期：平成19年度</p>	<p>多摩区ガイドマップの作成 ・部数：20,000部</p>	<p>区の魅力を伝えるという点では、区の内外から多くの問合せを受けており、事業目的を効果的に果たしている。</p>	<p>決算額：1,194,543円</p>

1	区民との協働による課題解決型事業	26,491,000円	25,158,937円	1,332,063円
2	区の魅力づくり・イメージアップ型事業	24,029,500円	21,609,856円	2,419,644円
3	その他、区政の推進に関わる事業	4,479,500円	1,572,810円	2,906,690円
	合計	(予算額) 55,000,000円	(決算額) 48,341,603円	(不用額) 6,658,397円